

平成 23 年度

事業報告書



公益財団法人 足立区生涯学習振興公社

目 次

公社経営方針	1
定款事業別体系図	2
事業区分別事業報告	4
公社概要	26
組織図	26

公社経営方針

平成20年12月に公益法人制度改革関連三法が施行されたことに伴い、当公社は公益財団法人への移行認定を目指すこととなった。

その後、公社を挙げての様々な準備を経て、平成21年10月1日に念願の「公益財団法人 足立区生涯学習振興公社」として設立登記が完了した。公益法人としてあらたなスタート地点に立ち、平成23年度には3年目を迎えるものである。

当公社は、足立区民の文化及びスポーツならびに学習の体験や機会を提供するとともに、人材育成や自主活動を支援する事業を行うなど、生涯学習を推進し、生き生きとした地域社会の創造に寄与することを目的と定めている。

23年度は区の大幅な組織改正などにより、生涯学習施設の管理(修繕)事業が区直営となり、自主財源である自動販売機設置事業の一部が区へ移管する等、厳しい情勢となった。

23年度の事業計画及び予算編成にあたっては足立区から受託する「放課後子ども教室支援」事業を核として、地域での文化・スポーツ・学習活動をコーディネートすることにより相乗効果を生み出し、公社の持つ経営資源を有効に活用することにより「生き生きとした地域社会」を築くことをコンセプトとした事業を構築する。

事業の実施、予算執行にあたっては、より一層効率的で的確な運営を図り、区民へのサービス向上に努める。

重点事項

① あだち放課後子ども教室の運営支援及び拡充に重点的に取り組む

区と連携し、区立小学校を拠点とした「あだち放課後子ども教室の運営支援・拡充」を引き続き公社の中核的事業として位置づける。

22年度には、全小学校72校での開設が完了し、次の目標である全72校で週3日、2会場での実施を目指しているところである。

23年度は東西南北4エリアにそれぞれ担当課長を設置するなどの組織改正を行い、学校、地域、関係者のさらなる理解と協力を得ながら、事業の拡大・充実を図っていく。

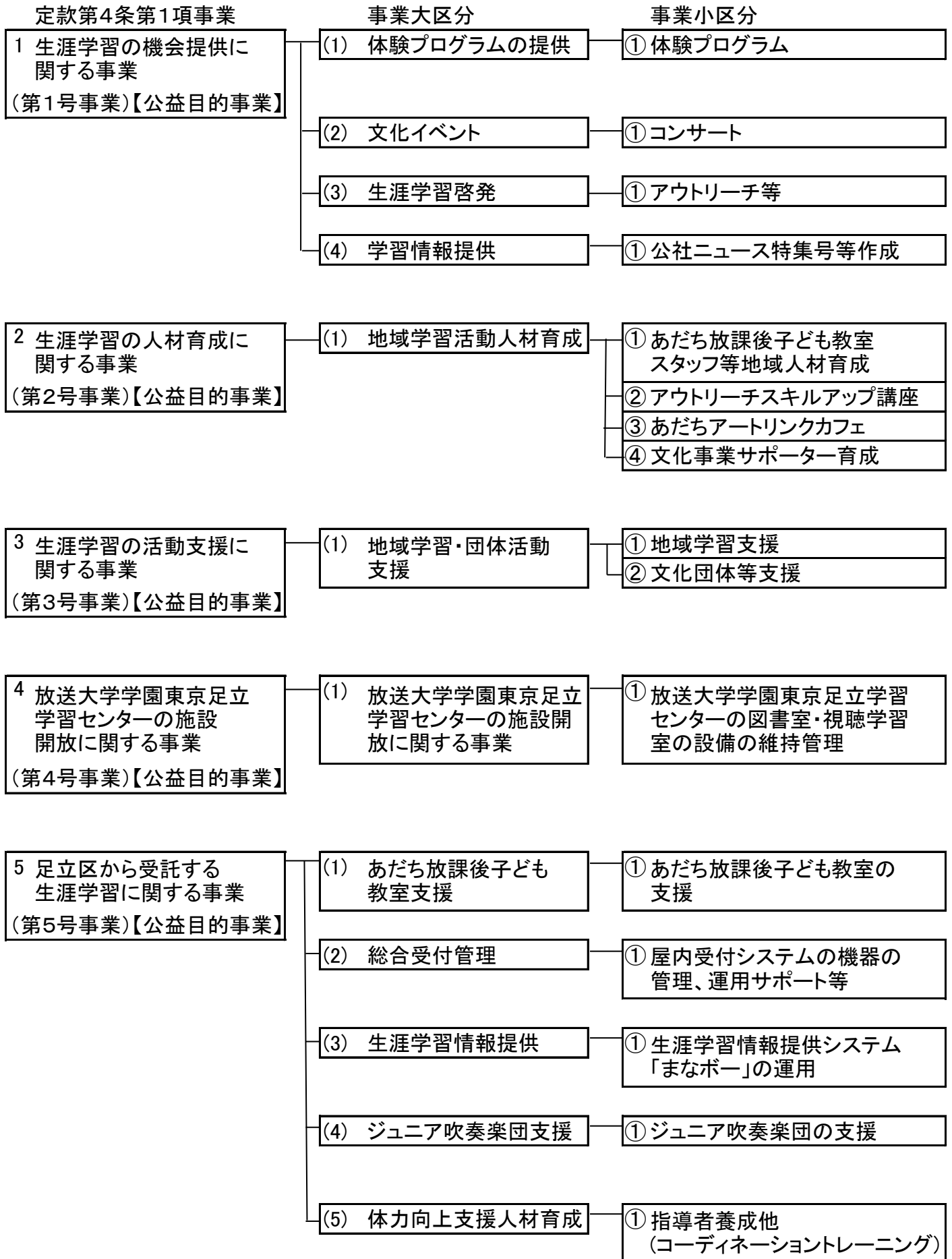
② 区民に文化・学習・スポーツの豊かな体験機会を提供する

公社の自主財源を投入し、体験プログラムなど生涯学習の学習機会を提供していく。また、区民一人ひとりが文化に親しみ、関心を高め、活力ある地域社会の形成に寄与するために、地域の団体やグループ等の事業をコーディネートし地域活動の支援と連携、人材育成を目指していく。

③ 公益財団法人として、法令等に基づく的確な法人運営を行う

法令等により明確に定められた公益認定基準やガバナンス(内部統治)等に適合した法人運営を行う。

平成23年度 定款事業別体系図



定款第4条第2項事業	事業大区分	事業小区分
6 足立区施設における 自動販売機設置事業 (第3号事業)【収益事業】	(1) 自動販売機	① 自動販売機設置業務
7 放送大学学園東京足立 学習センターの運営等 に関する受託事業 (第1号事業)【その他事業1】	(1) 放送大学学園東京足立 学習センターの運営等 に関する受託事業	① 放送大学学園東京足立学習 センターの事務局事務
8 足立区から受託する 生涯学習施設の管理に 関する事業 (第2号事業)【その他事業2】	(1) 生涯学習施設の管理に 関する事業	① 生涯学習施設の緊急小破 修繕
9 その他前号に定める事業 に関連する事業 (第4号事業)【法人会計】	(1) 公益財団法人の経営管 理、組織・人事管理、財 務運営	① 経営管理、組織・人事管理、 財務運営

事業区分別事業報告

1 生涯学習の機会提供に関する事業 (定款第4条第1項第1号事業) 【公益目的事業】

(1) 体験プログラムの提供			予算現額
			960 千円
目的	地域学習センターや学校施設を活用し、学習・スポーツ等の体験活動の場を提供する。 プログラムの講師は区内在住・在勤の様々な分野の人材を活用し、子どもの体力向上や子どもから高齢者までを対象とし、幅広く実施していく。		
23年度の予定			
内容	実施時期	実施回数	実施場所
読み語りキャラバン コーディネーショントレーニング レク&遊び体験 等	通年	20 回	地域学習センター 各学校等
23年度(H23.4.1~H24.3.31)実施内容			執行額
			314 千円
実施概要	<p>学習・スポーツの体験活動の機会を提供する場として、小学校・保育園関係団体や子育てグループ等へのアプローチを行った。上半期は震災の影響により実施調整が進まなかったが、下半期は子育てサロンを中心に親子で楽しめる「読み語りキャラバン」「親子ビクス」などのプログラムを実施した。</p> <p>「読み語りキャラバン隊」は、区の読み語り推進事業に併せ、公社が地域の朗読サークル等に協力を呼びかけ編成した有志の集りで、キャンペーン事業や放課後子ども教室での体験プログラムで活躍してきた。今回、乳幼児向けの読み語りキャラバンを実施するため小編成にリニューアルし、親子で体験・共感する参加型のおはなし会を実施した。</p> <p>他に、区公認スポーツ指導員フィットネス指導者連絡会と連携し、親子のスキンシップを図る「親子ビクス」など、からだづくりのプログラムを提供した。</p>		
実施内容	延参加者数	実施回数	実施場所
読み語りキャラバン ・子育てサロン【10/17・24,12/22,1/24】	169 人	4 回	子育てサロン関原・竹の塚・梅島・千住
コーディネーショントレーニング ・関原小PTA・親子コーディネーション【9/27】	115 人	1 回	関原小
ママビクス・子育てサロン【10/20,11/14・24・29】	88 人	4 回	子育てサロン東保木間・西保木間・おおやた・新田
親子ビクス・竹の塚保育園父母の会【12/2】	51 人	1 回	六月住区センター
ロープスキッピング・皿沼小開かれた学校づくり協議会【2/18】	350 人	1 回	皿沼小
小計	773 人	11 回	

(2) 文化イベント		予算現額		
		7,463 千円		
目的	文化芸術の潤いがある区民生活の実現を図るため、芸術と地域社会の出会いを創出する。多くの区民が、地域に住むアーティストに触れることにより、身近に文化芸術に親しみ、文化芸術の薫り高い心豊かな地域社会の実現に寄与する。また、公社がオーディションを経て発掘、育成した区内の演奏家による自主的音楽団体であるブリランテに、区の文化芸術振興のため、演奏会の開催を委託する。			
23年度の予定				
	内 容	実施時期	実施回数	実施場所
	オーケストラコンサート	6月	1 回	西新井文化ホール
	マイタウンコンサート	通年	4 回	区内
	ブリランテコンサート	7月、12月	2 回	天空劇場
23年度(H23.4.1~H24.3.31)実施内容				執行額
				460 千円
実施概要	<p>オーケストラコンサート【高関健(指揮)、千住真理子(ソリスト)、東京フィルハーモニー交響楽団(管弦楽)】は、6月に予定していたが、震災の影響により西新井文化ホールの使用が確定できない状況になったため、チケット発売直前に中止を決定した。</p> <p>マイタウンコンサートは、上半期には開催できなかった夜間開館(光の祭典開催中)の生物園【(出演)ヴィーヴ!サクソフォン・クワルテット:豊田晃生(S sax)、萩島良太(A sax)、鶴飼奈民(T sax)、浅利真(B sax)】及び桜の時期に合わせた都市農業公園【(出演)葦音(あしのね):たぐちたみ(メゾソプラノ)、大橋弘美(フルート)、矢野元子(ピアノ)】で実施した。両日ともに予想を超える入場者があり、西新井文化ホール休館による区民の芸術鑑賞機会の希求に応えるとともに、地域の演奏家が出演することにより区民が地域に愛着と誇りを持つ一助とすることができた。</p> <p>ブリランテコンサートは、メンバーによる直接販売により、500名を超える参加者があり、地域に根付いたクラシックコンサートとして親しまれている。</p>			
	実 施 内 容	延参加者数	実施回数	実施場所
	マイタウンコンサート【12/10,3/20】	1,102 人	2 回	生物園、都市農業公園
	ブリランテコンサート【9/25】	506 人	1 回	西新井文化ホール
	小計	1,608 人	3 回	

(3) 生涯学習啓発		予算現額	
		3,689 千円	
目的	<p>区内の福祉施設や小学校で様々な文化事業を行い、生の芸術を身近で体験できる場を創出する。文化芸術に触れる機会の少ない、または無関心である区民層を、文化芸術の支持層へと変えていくため、ホール等での「待ち」の事業から、地域への「攻め」の事業を展開する。子どもたちへの働きかけにはプロのアーティストを起用し、本物の芸術を体験させ、感性を養い人間力の向上を図る。</p>		
23年度の予定			
	内 容	実施時期	実施回数
	ふれあいコンサート	通年	3 回
	ふれあい出前寄席	通年	3 回
	小学校アウトリーチコンサート	通年	4 回
	SPCオリジナルソング「このまち」楽譜作成	通年	1 回
23年度(H23.4.1～H24.3.31)実施内容			執行額
			3,053 千円
実施概要	<p>ふれあいコンサートは、区内演奏家の出演により、竹の塚福祉園【大前恵子(ソプラノ)、高関麗(ピアノ)、高関瑶(パーカッション)】、竹の塚ふれあいセンター「希望の苑」【大前恵子(ソプラノ)、伊藤浩子(アコーディオン)、野中英士(コントラバス)】で実施した。</p> <p>ふれあい出前寄席は、区内在住の落語家【林家たけ平、林家まめ平】、太神楽師【鏡味仙三、鏡味千代】の出演により実施した。</p> <p>事業実施後、各施設にヒアリングを行い、その効果等について意見をいただいた。</p> <p>小学校アウトリーチコンサートは、サントリーホール室内楽アカデミーに所属する若手演奏家により、足立入谷小学校と千寿第五小学校では弦楽四重奏【クアルテット・セレシア：前田奈緒(ヴァイオリン)、福崎雄也(ヴァイオリン)、高橋梓(ヴィオラ)、内田佳宏(チェロ)】本木東小学校では、ピアノ四重奏【小林朋子(ヴァイオリン)、高橋梓(ヴィオラ)、小野木遼(チェロ)、今井彩子(ピアノ)】を行った。原則1年生が対象であるが、本木東小学校では全校児童を、千寿第五小学校では特別支援学級の児童も対象に実施した。事業実施後のヒアリングでは、「授業態度に落ち着きが見られるようになった」等の声が寄せられた。</p>		

実施概要	<p>スチューデントプロデュースコンサート(以下SPC)Vol.4(平成21年度)で発表したオリジナルソング「このまち」の楽譜を作成し、各学校及び希望団体等に配布した。</p> <p>「SPC Vol.5」は、震災の影響により平成23年3月の開催を中止したが、7月13日に延期公演を実施した。【外園祥一郎(ユーフォニアム 航空自衛隊中央音楽隊ソリスト)、高橋敦(トランペット 東京都交響楽団首席奏者)、白石光隆(ピアノ 東京藝術大学、お茶の水女子大学非常勤講師)】</p> <p>震災により心が疲弊した区民にできるだけ多く参加してもらうことと、施設貸出再開決定の遅れにより準備期間が実質3ヶ月と短期間であることから、入場を無料とし、会場で被災地への義援金を募った。</p> <p>出演者のCD売り上げの一部を含む義援金は10万円を超え、区民部を通じて日本赤十字社へ寄付し、日赤東京都支部足立区地区長より感謝状を受けた。</p>		
実施内容	延参加者数	実施回数	実施場所
ふれあいコンサート【10/26,1/6】	230 人	2 回	竹の塚福祉園、竹の塚ふれあいセンター
ふれあい出前寄席【5/23,7/22,2/22】	155 人	3 回	ゆうあいらんどさの、日の出デイサービスセンター、中央本町杉の子園
小学校アウトリーチコンサート【12/19,1/26,3/13】	158 人	6 回	足立入谷小、本木東小、千寿第五小
SPCオリジナルソング「このまち」楽譜作成		1 回	
スチューデントプロデュースコンサート【7/13】3/21の延期公演	659 人	1 回	西新井文化ホール
スチューデントプロデュースコンサート編曲謝礼		1 回	西新井文化ホール
スチューデントプロデュースコンサートミーティング【原則毎水曜】	168 人	21 回	西新井文化ホール 他
小計	1,370 人	35 回	

(4) 学習情報提供		予算現額		
		12,016 千円		
目 的	<p>毎月発行の公社ニュース「ときめき」では、「公社事業や生涯学習情報」を発信していく。特集号（年2回）では、さらに公社事業を掘り下げ、特徴的な取り組みやイベントなどを選択し、区民へ発信する。また、区民の自主的な学習活動を促進するため、地域学習センターやスポーツ施設など17施設で開催する生涯学習事業の情報収集を行い、区民に向けて情報提供を行う。公社ホームページでは、公社の概要や事業案内などの情報を発信し、公社を広くPRする。</p>			
23年度の予定				
	内 容	実施時期	実施回数	実施場所
	公社ニュース「ときめき」への自主事業等情報発信	毎月1回	12 回	区内全戸配布他 (300,000部)
	公社ニュース「ときめき」特集号の編集・発行 (公社事業特集)	不定期	2 回	
	公社ホームページによる情報提供	随時		
	区「あだち広報」への講座情報の編集	毎月1回	12 回	

23年度(H23.4.1~H24.3.31)実施内容		執行額	
		10,219 千円	
実施概要	<p>公社ニュース「ときめき」では、毎月、自主事業（文化事業、学習・スポーツ事業等）の周知や募集記事、あだち放課後子ども教室のコラム等を掲載（1頁/月）し、情報発信を行った。11月には「あだち放課後子ども教室」、4月には「学び」をテーマにした特集号を作成し、事業への理解と協力が得られるよう「ときめき」通常号と併せて区内全戸配布を行い、広く区民に公社事業・生涯学習情報を発信した。さらに、公社事業案内用リーフレットとして「笑顔いっぱい楽しい放課後」を作成し、区内全小学校の保護者等に「あだち放課後子ども教室」の情報提供を行った。公社ホームページでは、公社の概要や事業案内などの情報を発信し、公社を広くPRした。また、区「あだち広報」に掲載する各生涯学習施設・スポーツ施設などの講座・イベント情報の募集記事作成・編集作業を行った。</p>		
実施内容	実施時期	実施回数	実施場所
公社ニュース「ときめき」への自主事業情報発信	毎月1回	12 回	区内全戸配布他 (約300,000部/回)
公社ニュース「ときめき」特集号の作成	11月、4月	2 回	
公社ホームページによる情報提供	随時		
区「あだち広報」への講座情報（地域学習センター等の講座）の編集	毎月1回	12 回	
公社事業案内用リーフレットの編集・発行	6月	1 回	区内全小学校他

2 生涯学習の人材育成に関する事業
 (定款第4条第1項第2号事業) 【公益目的事業】

(1) 地域学習活動人材育成		予算現額	
		1,722 千円	
		執行額	
		666 千円	
①あだち放課後子ども教室スタッフ等地域人材育成			
目的	「あだち放課後子ども教室事業」を円滑に運営するため、スタッフに危機管理や、専門的な知識、技術のスキルアップを目的に研修の場を提供する。さらに事業の充実を図るため、「あだち放課後子ども教室サポーター」として地域の人材を発掘し、活動に必要な学習プログラムを学ぶ機会を提供し、事業をサポートする人材を育成する。		
23年度の予定			
内 容	実施時期	実施回数	実施場所
あだち放課後子ども教室スタッフスキルアップ研修 (子どもを伸ばす大人の接し方等)	通年	8 回	地域学習センター、 各学校等
あだち放課後子ども教室全体講習会	9月	1 回	
区民公開講座	通年	4 回	
あだち放課後子ども教室サポーター養成講座	通年	4 回	

23年度(H23.4.1～H24.3.31)実施内容

実施概要	<p>《あだち放課後子ども教室スタッフスキルアップ研修》</p> <p>「放課後子ども教室におけるケガの検証」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全管理スタッフや実行委員を対象に、放課後子ども教室で多いケガの検証とその対処法をワークショップ形式を採用して学習した。 <p>「放課後子ども教室における子どもの対応 ～実践編～」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全管理スタッフや実行委員を対象に、現代の子ども事情と居場所としての放課後子ども教室の意義、子どもとのコミュニケーションの取り方などを学習した。 <p>「遊びのヒント ～室内編～」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・室内遊びの紹介および用具の工夫による遊びの種類や幅をひろげる方法などを学習した。 <p>《全体講習会》</p> <p>実行委員・スタッフ、一般区民を対象に、放課後子ども教室の意義や実施には地域の力が不可欠であることなどを、東京学芸大学松田恵示教授に講演いただいた。</p> <p>《区民公開講座》</p> <p>子どもに関わる活動に携わっている方や保護者を対象に、子どもの心の発達段階に応じた悩みや問題行動について、理解を深め対処する方法を学ぶ講座を実施した。</p> <p>《サポーター養成講習会》</p> <p>放課後子ども教室や地域で子どもに関わる人材の発掘育成を目的に「おりがみ」「あそび」のサポーター養成講座を実施した。21年度から取り組んでいる「おりがみサポーター」講習会修了者約80名のうち、現在、35名が8校の放課後子ども教室で活動している。</p>
------	--

実施内容	延参加者数	実施回数	実施場所
あだち放課後子ども教室スタッフスキルアップ研修 ・「放課後子ども教室におけるケガの検証」【9/16,2/13】	82 人	2 回	ギャラクシティ・梅田地域学習センター
・「放課後子ども教室における子どもへの対応」【9/26,2/2】	110 人	2 回	ギャラクシティ・生涯学習センター
・「遊びのヒント(室内編)」【10/13,2/24】	83 人	2 回	梅田地域学習センター・生涯学習センター
あだち放課後子ども教室全体講習会【10/31】	156 人	1 回	庁舎ホール
区民公開講座 ・「子どもの発達段階の理解と対応策」 ～心のサインに気づくには・低学年編～【8/8】	117 人	1 回	梅田地域学習センター
・「子どもの発達段階の理解と対応策」 ～心のサインに気づくには・高学年編～【10/3】	114 人	1 回	生涯学習センター
あだち放課後子ども教室サポーター養成講習会及び交流会 ・「子どもと遊ぶおりがみ教室」第4期【9/24～10/26】	110 人	5 回	生涯学習センター 他
・キッズあそびサポーター講座①【10/25～11/15】	36 人	4 回	生涯学習センター
・キッズあそびサポーター講座②【3/7】	22 人	1 回	生涯学習センター
・サポータースキルアップ講習会「おりがみ」【12/7～12/14】	46 人	2 回	生涯学習センター
・おりがみサポーター交流会【2/22】	38 人	1 回	生涯学習センター
小計	914 人	22 回	

②アウトリーチスキルアップ講座			
目的	自主的な活動を行っている区内の演奏家を対象に、アウトリーチの技術向上や文化芸術を効果的に伝える能力を向上させるために、アートマネジメントの専門家やプロの演奏家によるスキルアップ講座を開催する。		
23年度の予定			
内容	実施時期	実施回数	実施場所
アウトリーチスキルアップ講座	11月	1回	生涯学習センター
23年度(H23.4.1～H24.3.31)実施内容			
実施概要	予定していた講師の都合がつかず中止した。24年度実施予定。		
実施内容	延参加者数	実施回数	実施場所
	--	--	

③あだちアートリンクカフェ			
目的	異文化が交流することによる新たな区民文化の創出と、地域の文化芸術の振興及び向上に寄与するために、地域における「アート」(表現活動に関するものすべて)の実践者、マネージャー、愛好者、学習者などを対象に、一般区民、表現者、民間企業、行政、学生等の立場や役割を越えて相互の情報交換と交流を図る。		
23年度の予定			
内容	実施時期	実施回数	実施場所
あだちアートリンクカフェ	通年	10回	生涯学習センター
23年度(H23.4.1～H24.3.31)実施内容			
実施概要	<p>当初6月からの実施を計画していたが、震災による夜間の施設貸出の制限をうけ、9月からの開催となった。参加者からはアートに関する関心の高さと新たな文化の創出への意欲が感じられた。この機会に様々なアートに関する情報が共有され、参加者相互の活動が広く周知された。回を重ねるごとに、参加者相互の交流はもとより、それぞれの活動分野を越えた連携協力が生まれつつある。各回のテーマとゲストスピーカーは以下の通り。</p> <p>第1回：アートアクセスあだち2011音まち千住の縁について(三宅博子、神谷知里)</p> <p>第2回：あー、だち作戦！ママ友から映画「隣人」へ至る(稲塚由美子)</p> <p>第3回：ヤングアメリカンズアウトリーチツアーの活動紹介(柴田康子)</p> <p>第4回：下町のクラシックコンサート柳原音楽祭(小倉敏政)</p> <p>第5回：アート初夢大新年会</p> <p>第6回：地域密着型演劇祭 池袋演劇祭(貝瀬孝和)</p> <p>第7回：落語のチカラ～落語にできること～(林家たけ平)</p>		
実施内容	延参加者数	実施回数	実施場所
あだちアートリンクカフェ 【9/22,10/28,11/25,12/22,1/27,2/24,3/23】	138人	7回	東京芸術センター 会議室
小計	138人	7回	

④文化事業サポーター育成			
目的	地域の文化芸術を担う人材を養成するために、これまでホールサポーターとして育成してきた人に文化事業にも協力を依頼し、文化事業のボランティアとして活動していただく。		
23年度の予定			
内容	実施時期	実施回数	実施場所
文化事業サポーターによる活動 地域での文化事業宣伝活動 文化事業運営協力 文化事業企画提案 文化事業サポーター会議、研修	通年		区内各所
23年度(H23.4.1~H24.3.31)実施内容			
実施概要	スチューデントプロデュースコンサートVol.5、歓喜の演Vol.11、マイタウンコンサート等において、会場案内、受付等の業務のほか、プログラムへのチラシ折込等の事前準備にご協力いただいた。事業数減に伴い、参加機会も減となったが、参加者の意欲は高く、他のボランティア活動に参加する方もおり、文化事業を支える区民の自己実現の場となっている。		
実施内容	延参加者数	実施回数	実施場所
文化事業運営協力【7/13・31,10/28,12/9,3/28】	34 人	5 回	西新井文化ホール、 公社事務局会議室
小計	34 人	5 回	

3 生涯学習の活動支援に関する事業
 (定款第4条第1項第3号事業) 【公益目的事業】

(1) 地域学習・団体活動支援		予算現額		
		2,857 千円		
		執行額		
		850 千円		
①地域学習支援				
目的	公社の事業ノウハウとネットワークを活用した事業コーディネートを通じて、区民が地域課題や現代的課題について主体的に考え学びあう機会を創出する。学習事業の企画立案は、地域団体や各種機関との連携を基本に行い、区民参画による学習活動を推進していく。			
23年度の予定				
	内容	実施時期	実施回数	実施場所
	体育指導委員会との連携講座	通年	4回	区内各小学校
	学校図書ボランティアとの連携講座	通年	3回	区内各小学校
	地域団体・各種機関との連携講座	通年	10回	区内各所
	地域学習コーディネート	通年		区内各所
23年度(H23.4.1～H24.3.31)実施内容				
実施概要	区民の学習機会の拡充や学習活動の支援を行うため、各種団体や機関との連携による事業を実施した。体育指導委員会との連携では、子どもの体力向上の一環としてドッジビー普及啓発を開始した。また日本将棋連盟との連携で放課後子ども教室での将棋教室を通年開催した。将棋に親しみながら礼儀作法や集中力が身につく機会として期待できるため、24年度も引き続き実施する。他に、都立高校および子ども家庭部、高等教育機関、NPO等と連携した事業を実施した。			

実施内容	延参加者数	実施回数	実施場所
体育指導委員会との連携【10/18,11/1・8,1/25,2/1・8・22】	223 人	7 回	鹿浜小・千寿桜小・千寿小
学校図書ボランティアとの連携【12/1,2/21,2/22】	43 人	3 回	寺地小・鹿浜第一小
地域学習団体活動支援講座 ・「将棋塾①」【5/11～3/14】	438 人	27 回	鹿浜第一小
・「将棋塾②」【5/11～3/7】	275 人	30 回	桜花小
地域団体連携講座(東加平小開かれた学校づくり協議会) 「コーディネーショントレーニング教室」【6/11】	32 人	1 回	東加平小
各種機関連携講座 ・～出張工作教室～(株式会社東急ハンズ)【6/1,1/27】	74 人	2 回	伊興小・弘道小
・～ゆめ広場～(区青少年課) 【6/15・22,7/6・13,8/31,9/7,14,10/12・19,11/16・30,12/7・14, 1/11,2/8・15,3/7・14】	557 人	18 回	六木小・宮城小・栗島小・東伊興小・栗原小・花畑第一小・皿沼小・千寿第八小・東加平小・西保木間小・新田小・弘道小・高野小・加平小・西新井第二小・北三谷小・寺地小
・～子どものスポーツ活動を支える大人のための～ 「スポーツコンディショニング講座」 (NPOスポーツセイフティジャパン)【7/23】	16 人	1 回	生涯学習センター
・～こころの成長と親の役割～「学校との出会いの前に」 (放送大学)【11/15】	43 人	1 回	生涯学習センター
・～子どもの創造的想像力を育むことばかけ～ 「子どものウソは『嘘』か」(放送大学)【12/3】	48 人	1 回	教育相談センター
・～DNAが解明するインカのルーツ～ 「インカ文明を築いた人々」(放送大学)【3/3】	179 人	1 回	生涯学習センター
・～ヒトはなぜ体型にこだわるのか～ 「やせ願望の心理学」(東京未来大学)【3/8】	29 人	1 回	生涯学習センター
・～犯罪防止は地域のきずなと継続が力～ まちを守る「攻める防犯」(東京未来大学)【3/8】	36 人	1 回	生涯学習センター
・～シニアジョガーのためのカラダづくり&メンテナンス～ 「スポーツコンディショニング講座Vol.2」 (NPOスポーツセイフティジャパン)【3/24】	25 人	1 回	生涯学習センター
都立高校生奉仕体験活動 ・淵江高校【6月～12月】	50 人	18 回	花保小・花畑小・淵江第一小
・江北高校【7/8・11・14,8/30】	16 人	4 回	弥生小
・足立工業高校【11月～3月】	430 人	123 回	伊興小・上沼田小・栗原北小・皿沼小・鹿浜第一小・西伊興小・西新井第一小・西新井第二小
あだちウェルネスカレッジ ～骨盤のコンディショニングで変わるカラダ・動き～ 【1/29】	41 人	1 回	生涯学習センター
地域学習コーディネート 【随時】		2 回	東加平小他
小計	2,555 人	243 回	

②文化団体等支援			
目的	区民との協働により文化芸術の薫り高いまちづくりを推進するため、自主的な文化活動を行う区民や地域の芸術家及び団体とパートナーシップを持って、共に新しい区民文化を創造していく。また、地域からの企画相談窓口を設置し、地域の芸術家を活用することにより文化振興に寄与する。		
23年度の予定			
内容	実施時期	実施回数	実施場所
21世紀ADACHI芸術文化共同制作プロジェクト 歓喜の演Vol.11	6月	1回	西新井文化ホール
足立区音楽祭	10月	1回	区内
ヤングアメリカンズアウトリーチ	3月	1回	シアター1010
イベントコーディネート	通年		区内各所
23年度(H23.4.1～H24.3.31)実施内容			
実施概要	<p>各団体の演奏会を共催し、運営面及び事業実施面での支援を行うとともに、ふれあいコンサート事業等への人材活用を図っていく。地域の演奏家が活動の可能性を広げることでより地域の文化向上が図られていく。</p> <p>区民との協働事業である歓喜の演は、西新井文化ホールの工事休館中も、年間を通じた活動場所の確保と事務局としての支援を行った。</p> <p>足立区音楽祭は実行委員会会議への参加により、事業運営についての助言、協力を行い、公演当日の運営支援を行った。</p> <p>ヤングアメリカンズアウトリーチツアーでは、シアター1010を会場として、小学生から高校生200名が異文化との濃密な3日間の交流を体験し、自己表現の力を身につけた。イベントコーディネートでは、住区センターや民間からの相談を受け、コーディネートを行った。地域での文化振興に寄与する当事業は、行政及び区民から期待されている。</p>		
実施内容	延参加者数	実施回数	実施場所
足立吹奏楽団定期演奏会【5/29,1/9】	662人	2回	西新井文化ホール、 天空劇場
足立区民合唱団定期演奏会【7/24,1/22】	854人	2回	西新井文化ホール、 庁舎ホール
歓喜の演公開講座【7/31】	276人	1回	西新井文化ホール
21世紀ADACHI芸術文化共同制作プロジェクト 歓喜の演Vol.11「狂言」【3/4】	487人	2回	竹の塚地域学習 センターホール
第7回足立区音楽祭【9/4・17・25,10/2】	1,641人	7回	アリオ西新井、 パサージュ西新井、 竹の塚地域学習 センターホール、 庁舎ホール
ヤングアメリカンズアウトリーチ【3/9～11】	700人	3回	シアター1010
イベントコーディネート【随時】		4回	住区センター 他
小計	4,620人	21回	

4 放送大学学園東京足立学習センターの施設開放に関する事業
 (定款第4条第1項第4号事業) 【公益目的事業】

(1) 放送大学学園東京足立学習センターの施設開放に関する事業			予算現額
			7,786 千円
目的	放送大学東京足立学習センターは、区民が身近で高等教育を受ける機会を提供するため誘致した施設である。生涯学習の推進を目的とする公社が同センターの図書室・視聴学習室の管理を受託し、図書、映像資料整備と公社職員が窓口業務を行うとともに、図書室・視聴学習室を学生に限らず広く区民に開放し、身近で使いやすい学習施設を提供することで区民の学習機会の拡大を図る。		
23年度の予定			
	内 容	実施時期	実施回数
	図書室、視聴学習室の設備の維持管理	通年	
	23年度(H23.4.1~H24.3.31)実施内容		執行額
			7,690 千円
実施概要	図書室・視聴学習室の管理を行い、学生に限らず広く区民に開放し、身近で使いやすい学習施設を提供し区民の学習機会の拡大を図った。また、放送大学視聴学習室を利用する区民のために、科学・文化等の一般教養に関する視聴覚資料の選定作業を行った。		
	実 施 内 容	実施時期	実施回数
	図書室、視聴学習室の設備の維持管理	年間随時	年間随時
			東京足立学習センター

5 足立区から受託する生涯学習に関する事業
 (定款第4条第1項第5号事業) 【公益目的事業】

(1) あだち放課後子ども教室支援		予算現額	
		268,805 千円	
目的	<p>「あだち放課後子ども教室」は放課後の子どもたちに安全で安心な居場所として小学校の施設を活用し、思いっきり身体を動かし、自由な遊びや自主学習、体験・交流活動などを行うことで、「社会性や協調性を養う」「自分で考え行動する力を伸ばす」「運動能力や体力を高める」「生活リズムを整える」ことを目的としています。</p> <p>そのため公社は、事業が円滑に行くよう、培ってきたノウハウを地域の人材育成や既存の団体等との連携により、各学校の実情に合わせた放課後子ども教室の推進を支援する。</p>		
23年度の予定			
	内 容	実施時期	実施回数
	あだち放課後子ども教室の支援	通年	
	あだち放課後子ども教室の実施内容の拡充	通年	
	安全管理講習会の実施	通年	72 回
	運営委員会支援	8月、2月	2 回
	ブロック会議の開催	7月、11月	26 回
	23年度(H23.4.1~H24.3.31)実施内容		執行額
			165,050 千円
実施概要	<p>《運営支援・拡充》 小学校全校での開設が完了し、週5日・2箇所以上が31校、週3日・2箇所以上が36校、週3日・2箇所未達成が4校となった。公社は区内を4エリアに分け、エリア別の担当により、謝金の支払い事務や会議資料の作成、現場への巡回指導を実施した。</p> <p>また、次の目標である全校週5日を目指し、実行委員会やスタッフ会議を通じて、拡充の働きかけと学校との調整を行った。</p> <p>《安全管理講習会》 AEDの使用方法・胸骨圧迫などの緊急対応やケガ対応に特化した講習会を実施。同内容で開設前の必修講習会としても実施している。</p> <p>《ブロック会議》 小学校の13ブロック毎に会議を設置し、各教室の実施状況や運営上の工夫、課題や解決策について、情報共有や意見交換、交流等を行った。</p> <p>《運営委員会》 神奈川大学講師の久田氏の講演を聴講後、各実行委員長がブロックを越えたグループに分かれ、講演内容に沿った意見交換をおこなった。あわせて、教育委員会からの報告や方針の説明を通じて、全体の実施状況を把握するとともに、次年度の運営への理解を深めた。</p>		

実施内容	延参加者数	実施回数	実施場所
安全管理新任講習会(応急処置)【9/22,12/8,1/24,3/16】	91 人	4 校	ギャラクシティ・総合スポーツセンター他
安全管理フォロー講習会(応急処置) 【4/7・12・13・14・19・20・22・25・27(午前・午後),5/9・11・12・17 (午前・午後)・18・19(午前・午後)・20・24(午前・午後)・25 (午前・午後)・26・27・30・31,6/1(午前・午後)・2・3・4・7(午前・ 午後)・8(午前・午後)・10・13・14・15(午前・午後)・17・20・21 (午前・午後)・22(午前・午後)・23・24・27(午前・午後)・29,7/1 (午前・午後)・2・4(午前・午後)・5(午前・午後)・6・7・8(午前・ 午後)・9・12・13・19・20】	945 人	71 校	区内各小学校
ブロック会議 【7/1・5(午前2)・8・11(午前2)・12(午前3)・13・14(午前・午後)・ 22】	148 人	13 回	区内各小学校他
ブロック会議 【11/14(午前・午後)・16・22・24(午前・午後)・29・30,12/1 (午前・午後)・2・6・7】	222 人	13 回	区内各小学校他
運営委員会【1/30】	106 人	1 回	区内各小学校他
小計	1,512 人		

(2) 総合受付管理		予算現額	
		104,872 千円	
目的	区では生涯学習センター、地域学習センター、総合スポーツセンター、屋内プール等の各受付窓口をネットワークで結び、利用者の利便性を高めている。公社は、この予約システムのインフラ、PC等の機器の管理及び各受付窓口での学習室・体育館等の施設予約及び講座受付の運用サポートを受託する。		
23年度の予定			
内容	実施時期	実施回数	実施場所
屋内受付システム 機器の管理(消耗品含む) アプリケーション運用サポート	通年		
23年度(H23.4.1~H24.3.31)実施内容			執行額
			91,524 千円
実施概要	区から受託している予約システムのインフラ、PC等の機器の管理及び利用情報案内の調整や学習室・体育館等の施設予約及び講座受付等の各システムの運用サポートを実施した。		
実施内容	実施時期	実施回数	実施場所
屋内受付システム 機器の管理(消耗品含む) アプリケーション運用サポート	通年		

(3) 生涯学習情報提供			予算現額
			7,664 千円
目的	<p>生涯学習に関する区内の各種情報（講座・施設・指導者・グループ等）を各生涯学習施設から集約し、インターネット上で検索できる「生涯学習情報提供システム」や、生涯学習センター、地域学習センター、総合スポーツセンター、屋内プール等の施設最新情報を公開する「各施設ホームページ」の運用を受託する。</p> <p>「生涯学習情報提供システム」では、区民が求める情報及び区民の関心や理解を深める特集を企画・公開し、区民の生涯学習への取り組みを推進する。</p>		
23年度の予定			
	内 容	実施時期	実施回数
	生涯学習情報提供システム「まなボー☆」企画更新 (特集3回含む)	毎月2回	24 回
	各施設ホームページによる情報提供	毎月1回	12 回
23年度(H23.4.1～H24.3.31)実施内容			執行額
			6,938 千円
実施概要	<p>区から受託している生涯学習情報提供システム「まなボー☆」の更新を、毎月2回実施した。また、特集では、7月に「夏休みの自由研究はこれで決まり！あだちで作って、調べて、探してみよう」と題し、足立区の歴史や史跡、区内で見ることのできる生物とスポット、子どもや親子で楽しめる工作やイベント・講座などの情報を幅広く提供した。また、9月には「物産展や模擬店も開催♪ふれあいまつり2011」と題し、各センターの作品展や発表会、フリーマーケットなどの催し物情報やスケジュールを、3月には「講師派遣制度 あだち“学び”応援隊」を取り上げ、地域での自主的な学習会や学校の授業などを支援するための「あだち“学び”応援隊」のPR、講座内容の紹介を行った。</p>		
	実 施 内 容	実施時期	実施回数
	生涯学習情報提供システム「まなボー☆」企画更新 (特集3回含む)	毎月2回	24 回
	各施設ホームページによる情報提供	毎月1回	12 回
	実 施 場 所		

(4) ジュニア吹奏楽団支援			予算現額	
			4,929 千円	
目的	足立区の音楽文化向上を図り、生涯にわたり音楽を愛好する情操豊かな児童を育成するジュニア吹奏楽団の支援事業を受託する。公社は、団体行動を通じ参加児童の健全育成を図るとともに、定期演奏会をはじめ、区内の各イベント等への出演を調整し、地域への音楽普及活動、音楽文化の裾野の拡大に貢献する。			
23年度の予定				
内 容		実施時期	実施回数	実施場所
楽団及び楽団友の会運営支援、演奏活動支援、自主運営の促進 指導者謝礼補助 楽器等備品購入 楽譜等消耗品購入 通信運搬費補助		通年		練習(島根小) 定期演奏会(区内) その他区内での 派遣演奏会場
23年度(H23.4.1~H24.3.31)実施内容				執行額
				4,754 千円
実施概要	楽団及び楽団友の会運営支援、演奏活動支援、自主運営の促進。東日本大震災の影響で中止となった平成22年度卒団式および第21回定期演奏会の順延開催を上半期に実施。平成23年度は区内における演奏活動に加え、楽団の自主活動として楽団友の会(団員保護者の会)の総意のもと、区外での演奏活動も実施した。平成23年度の団員は47名。			
実 施 内 容		延参加者数	実施回数	実施場所
楽団及び楽団友の会運営支援、演奏活動支援、自主運営の促進。【随時】指導者謝礼補助、楽器等備品購入、楽譜等消耗品購入、通信運搬費補助				
定例練習		3,854 人	82 回	島根小学校
楽団内活動		38 人	1 回	生涯学習センター
・平成22年度卒団式、平成23年度入団式【4/30】		500 人	1 回	島根小学校
・第21回定期演奏会~AJBお茶の間劇場【6/4】		45 人	1 回	日光林間学園
・夏合宿【8/16~18】		600 人	2 回	アリオ西新井
派遣演奏・イベント出演		200 人	2 回	総合スポーツセンター
・足立ジュニア吹奏楽団サンリオピューロランド出演 記念オータムコンサート in アリオ西新井【9/19】		205 人	1 回	サンリオピューロランド
・区民体育大会総合開会式派遣演奏 スポーツカーニバル出演【10/10】		800 人	2 回	アリオ西新井
・サンリオピューロランド出演【10/23】		400 人	1 回	足立区役所 庁舎ホール
・足立ジュニア吹奏楽団クリスマスコンサート in アリオ西新井【12/10】				
定期演奏会				
・第22回定期演奏会 ~心・響・笑顔 がんばろう日本♪~【3/25】				
小計		6,642 人	93 回	

(5) 体力向上支援人材育成			予算現額
			282 千円
目的	区民の体力向上を図るため、楽しみながらからだを動かすことをコンセプトとした「コーディネーショントレーニング」を指導できる人材を育成する。また、指導者が日常的に活用できるよう定期的なスキルアップ研修を実施する。		
23年度の予定			
内容	実施時期	実施回数	実施場所
指導者養成 (コーディネーショントレーニング)	9月、2月	2回	総合スポーツセンター他
指導者スキルアップ (コーディネーショントレーニング)	通年	12回	小学校等
23年度(H23.4.1~H24.3.31)実施内容			執行額
			266 千円
実施概要	コーディネーショントレーニングの普及に関わる人材の発掘・育成を図るため、地域スポーツ指導者や保育・学校体育に携わる方や、指導者を目指す方などを対象に、コーディネーショントレーニングの基礎理論・実技の講習会を行った。また、実践的な指導技術を学ぶために対象者別のスキルアップ講習会を3コース実施した。		
実施内容	延参加者数	実施回数	実施場所
コーディネーショントレーニング 初心者講習会【6/11】	53人	1回	栗原北小
初心者講習会【2/11】	27人	1回	総合スポーツセンター
指導者スキルアップ講座(幼児編)【9/14~11/12】	106人	4回	生涯学習センター
指導者スキルアップ講習会(小学生)【1/30~2/20】	18人	3回	生涯学習センター
指導者スキルアップ講習会(一般・高齢者編) 【1/30~2/20】	27人	2回	生涯学習センター
小計	231人	11回	

【 1～5 公益目的事業に対する人件費 】

公益目的事業に対する人件費			予算現額
			258,210 千円
目的	定款第4条第1項事業：公益目的事業を実施する職員の人件費 (放送大学学園東京足立学習センターの施設開放に関する事業分を除く)		
23年度の予定			
内容	実施時期	実施回数	実施場所
公益目的事業に従事する職員人件費	通年		
23年度(H23.4.1～H24.3.31)実施内容			執行額
			240,028 千円
実施概要	公益目的事業を実施する職員の人件費の支出。		
実施内容	実施時期	実施回数	実施場所
公益目的事業に従事する職員人件費	随時		

6 足立区施設における自動販売機設置事業
(定款第4条第2項第3号事業) 【収益事業】

(1) 自動販売機			予算現額
			4,658 千円
目的	足立区施設を利用する区民の利便性を図るため、飲料水等の自動販売機を設置する。施設使用については、足立区から必要な許可を受ける。自動販売機は業者が設置する。光熱水費を業者から実費相当分を徴収し、区に負担金として納付する。また、売上の一部を手数料として徴収し、公益目的事業費にあてる。		
23年度の予定			
内容	実施時期	実施回数	実施場所
自動販売機設置業務	通年		
23年度(H23.4.1～H24.3.31)実施内容			執行額
			3,500 千円
実施概要	足立区施設を利用する区民の利便性を図るため、足立区から飲料水等の自動販売機の設置の施設使用許可を受けた(自動販売機は業者が設置)。業者から光熱水費の実費相当分を徴収し、区に負担金として納付。また、売上の一部を手数料として徴収し、公益目的事業費として使用する。		
実施内容	実施時期	実施回数	実施場所
自動販売機設置業務	随時		

**7 放送大学学園東京足立学習センターの運営等に関する事業
(定款第4条第2項第1号事業) 【その他の事業1】**

(1) 放送大学学園東京足立学習センターの運営等に関する事業			予算現額	
			5,160 千円	
目的	放送大学東京足立学習センターは、区民が身近で高等教育を受ける機会を提供するため誘致した施設である。生涯学習の推進を目的とする公社が同センターの総務的業務(公印の保管等の事務、職員の任用その他人事に関する事務、広報に関する事務など)を行っている。			
23年度の予定				
内 容		実施時期	実施回数	実施場所
東京足立学習センターの事務局事務		通年		東京足立学習センター
広報に関する事務		通年		
面接授業に関する事務		通年		
単位認定試験の実施に関する事務		通年		
23年度(H23.4.1~H24.3.31)実施内容				執行額
				5,160 千円
実施概要	放送大学東京足立学習センターの第1学期4月入学、第2学期10月入学からのそれぞれ入学者に対し、学部及び大学院への受け入れ、面接事業及び単位認定試験のサポートを実施。また平成24年度第1学期学生「4月入学」の学生募集も行い区民の学習機会の拡充を図ってきた。			
実 施 内 容		実施時期	実施回数	実施場所
東京足立学習センターの事務局事務		年間随時	年間随時	東京足立学習センター
広報に関する事務		年間随時	年間随時	
面接授業に関する事務		年間随時	年間随時	
単位認定試験の実施に関する事務		年間随時	年間随時	

**8 足立区から受託する生涯学習施設の管理に関する事業
(定款第4条第2項第2号事業) 【その他の事業2】**

(1) 生涯学習施設の管理に関する事業			予算現額	
			— 千円	
目的	受託事業廃止			
23年度の予定				
内 容		実施時期	実施回数	実施場所
生涯学習施設の緊急小破修繕		—	—	
23年度(H23.4.1~H24.3.31)実施内容				執行額
				— 千円
実施概要	受託事業廃止			
実 施 内 容		実施時期	実施回数	実施場所
生涯学習施設の緊急小破修繕		—	—	

9 その他前号に定める事業に関連する事業
 (定款第4条第2項第4号事業) 【法人会計】

(1) 公益財団法人の経営管理、組織・人事管理、財務運営			予算現額
			51,461 千円
目的	公益財団法人足立区生涯学習振興公社を運営するため共通の庶務事務を実施する。また、自主事業を安定して継続するため、基本財産等の安全確実な資産運用を行う。		
23年度の予定			
内 容	実施時期	実施回数	実施場所
職員等の給与システムの運営	通年		公社事務局
経理・契約システムの運営	通年		
基本財産等の管理及び運用	通年		
理事会及び評議員会の開催	5月、11月、 2月		
23年度(H23.4.1~H24.3.31)実施内容			執行額
			38,030 千円
実施概要	<p><職員等の給与システムの運営> 適切な職員給与支給の実施を行った。</p> <p><経理及び契約システムの運営> 新会計基準に則った経理・契約システムにより、適切な執行管理を行った。</p> <p><基本財産の運用> 下半期に満期償還された債券等を、財産管理運用規程及び要綱に則り預け替えを行った。</p> <p><理事会及び評議員会の開催> 5、6月に、平成22年度事業報告及び決算の審議のため開催。11月、平成23年度上半期の事業・収支状況報告のため開催。2月、平成24年度事業計画、収支予算の審議のため開催を行った。</p>		
実 施 内 容	実施時期	実施回数	実施場所
職員等の給与システムの運営	年間随時	年間随時	公社事務局
経理及び契約システムの運営	年間随時	年間随時	公社事務局
基本財産等の管理及び運用	年間随時	年間随時	公社事務局
理事会及び評議員会の開催	5月、6月、 11月、2月	理事会6回 評議員会3回	公社事務局会議室 及び生涯学習センター 講堂・研修室1

公社概要

設立 公益財団法人足立区生涯学習振興公社
平成 5年 2月1日（平成12年4月1日名称変更）
公益認定 平成21年10月1日公益財団法人
基本財産 15億円
代表者 理事長 鯨井 利昭
職員数 51名（定数）
常勤30名（派遣6名、固有24名）
再任用1名 非常勤20名
住所 〒120-0034 東京都足立区千住五丁目13番5号 学びピア21
ホームページアドレス <http://www.kousya.jp/tokimeki/>

組織図

（決議機関）

評議員会

（監査機関）

監事

（執行機関）

理事会 ——— 理事長 ——— 副理事長
（代表理事） （業務執行理事）

（事務局）

事務局長

総務部

企画総務課、企画調整担当課長(2)、経理課
学習情報課

学習事業部

放課後子ども教室支援課、
放課後子ども教室推進担当課長(4)
学習・スポーツ事業課、文化活動支援課